

教材活用シリーズ 第171回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果が得られるポイント（場面・方法）などをご紹介いたします。

中学3年間の学習内容を 効率的に総復習できる問題集

(株)五ツ木書房
『3年間の総復習
まとめ問題集』理科



ふじもと たけし
藤本 武
(株)五ツ木書房
第一編集部部長・理科担当

1. はじめに

理科の学習で大切なことのひとつに、科学的に思考し、表現する力をつけることが挙げられますが、基本的な知識がなければ、課題や問題点を考えることはできません。3年間で獲得した知識と知識を結びつけ、活用できるようにするために、基礎的な知識の習得と、知識を使いこなす実践力の強化は欠かせません。

2. 教材の特長

本稿で紹介させていただく入試対策教材『3

年間の総復習 まとめ問題集』は、中学3年間の学習内容を効率的に復習し、高校入試に向けた学習の総仕上げを行うことができる教材です。1・2年の内容から3年の内容へと、順序立てて構成してありますので、日常の授業と並行して総復習ができます。また、令和7年4月からの新教科書使用に合わせて改訂を行っています。

(1) 効率よく学習できる3段階構成

本教材の単元ページは、各単元を「要点の確認（1ページ）→「問題A…基礎を固める！」（1ページ）→「問題B…実力を高める！」（2

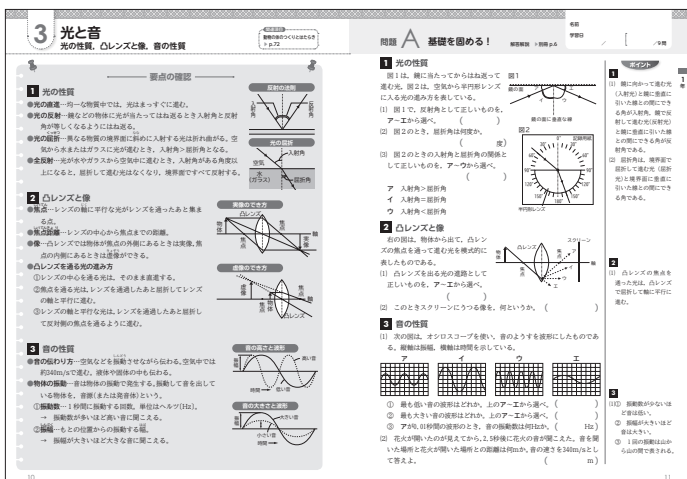
ページまたは4ページ）の3段階構成で構成されており、3年間の学習内容を効率よく学習できるようにしています。

(2) 「要点の確認」で基礎基本内容の確認

「要点の確認」では、学習する単元の要点となる用語や公式などがわかりやすくまとめられています。理解の助けとなる図や表も多く示されています。

(3) 「問題A…基礎を固める！」で基本的な問題を解く。

単元の理解度をみる基本問題で構成されて



▲本誌（要点の確認、問題A）

います。問題の右側に「ポイント」も示されていて、わからなかった問題も、この「ポイント」を見ると、解答できるようになっています。

(4) 「問題B・実力を高める！」で入試レベルの実力をつける。

入試によく出される代表的な問題で構成されています。記述や作図問題も豊富で、じっくり取り組めるようになっていきます。

(5) 「入試編」「重要用語・公式」

3 学年の学習項目の次に、入試問題の演習を行う「入試編」があり、すべての学習範囲からバランスよく出題されていて、入試対策の総仕上げとして最適です。また、巻末には「重要用語」と「公式」がまとめられていて、知識の最終確認もできます。

(6) 詳しい「解答・解説」

間違えた内容が理解できるように、詳しく解説されていて、入試レベルの問題でも、自学自習ができます。

答えは赤で示され、「問題B」の解答を本誌の縮刷形式にして、採点しやすいようになっています。また、縮刷解答の左右に解説を配置することで、問題と解説の対応関係がわかりやすくなっています。

さらに、「得点アップポイント」を掲載し、図を使ったわかりやすい解説や、計算問題では、途中の式も示して理解しやすくしています。

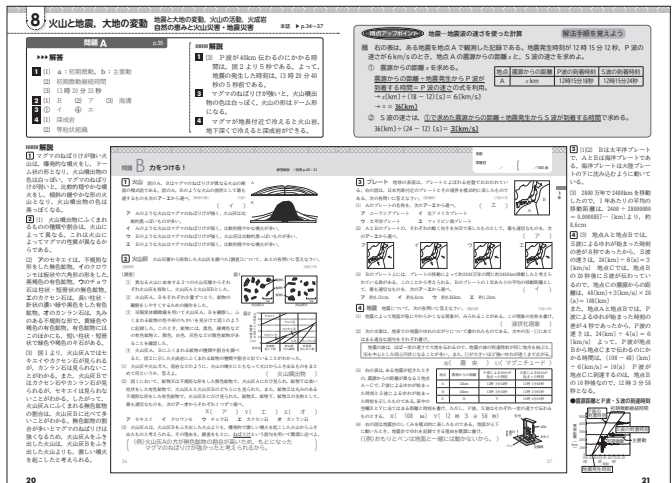
別売の「ノート」は、現場の先生方からの要望を受けて、作成したものです。本誌と「ノート」で2回取り組むことができ、学習内容の定着に有効な繰り返し学習に最適です。

(7) 繰り返し学習ができる「ノート」

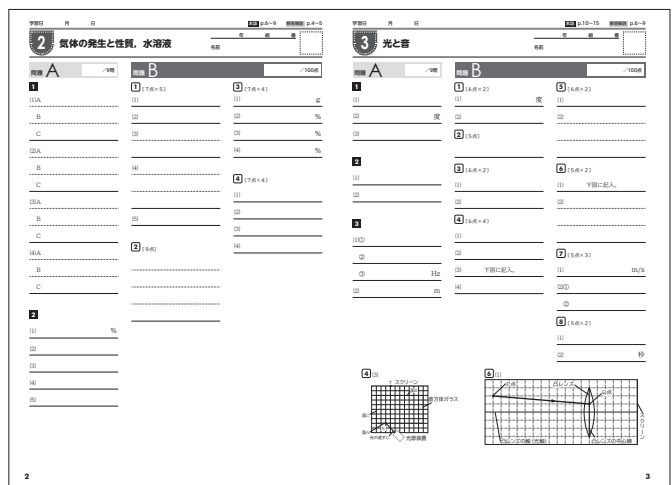
本誌を併せて採用いただいた学校の多くが、「ノート」も併せて採用いただいています。

(8) 学習の成果を確認

本誌の巻頭とノートの表紙裏にあるもくじは、毎回の学習結果を記録できるようになっています。問題に取り組んだ「学習日」と「得点(または正答数)」を記入することで、日々の学



▲解答・解説



▲ノート

習成果を確認することができ、生徒が苦手とする項目も一目でわかります。「予定日」の欄も設けていますので、最初に学習計画を立て、「予定日」を記入しておくことで、「学習日」の記録と比較して、学習の進捗状況を把握することができます。

3. 終わりに

理科の入試問題を解き、答えを導き出す科学的な思考力を身につけることができます、よりよい教材を作成できるよう、編集部では、これからも研鑽を重ねて参ります。